

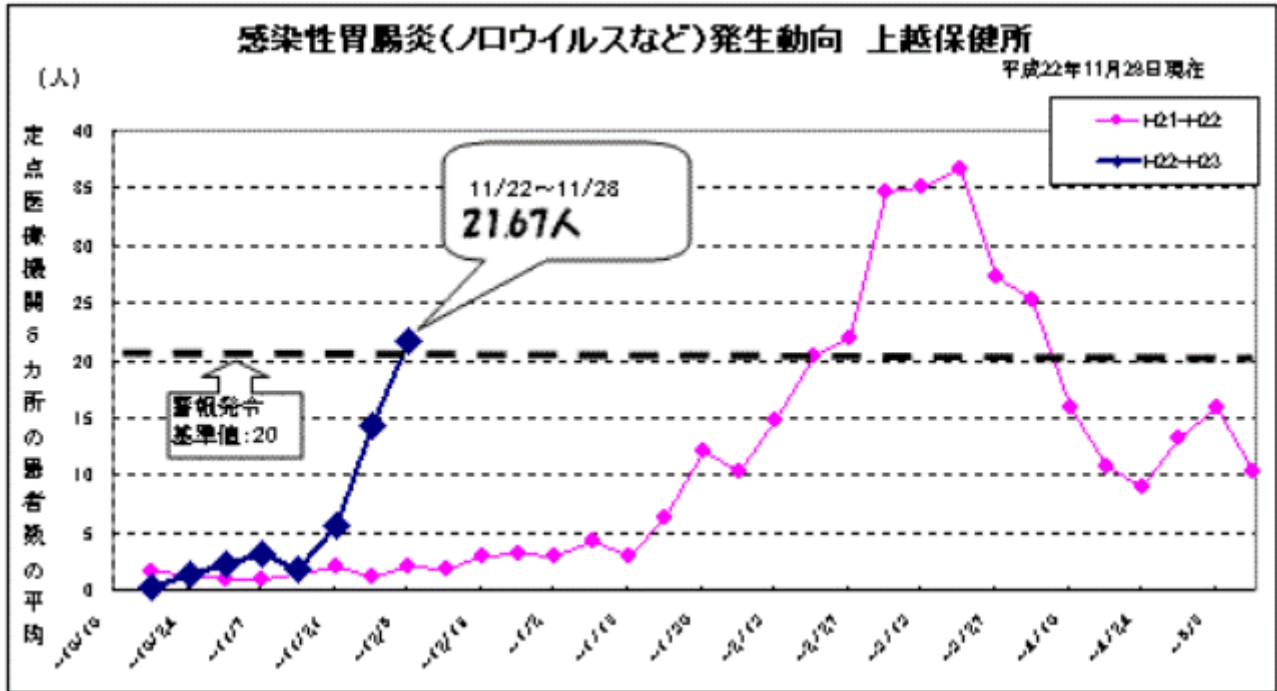
平成22年12月号

妙高市立姫川原小学校

上越地域の感染性胃腸炎発生が急増！



感染性胃腸炎は、お腹にくるかぜとも言われます。ノロウイルスやロタウイルスなどによっておこる胃腸の感染症です。感染力が強いので、たくさんの人にうつってしまうこともあります。



*上越地域の発生が急増しており、国の示す警報基準値20を超えました。

☆☆保護者の皆さまへ☆☆☆

登校前、お子さんの健康状態を観察していただき、おう吐・下痢等の症状がありましたら、受診をお願いいたします。

☆症状: 吐き気・おう吐・下痢・発熱(無いこともある)・腹痛などで、急激に始まることが多い。

一般的には2~3日で回復する。潜伏期間は1~2日間である。

☆感染のしかた: 感染した人の便やおう吐物から、人の手を介して感染する。

汚染された食品を食べて感染する。

感染性胃腸炎の二次感染を防ぐには

★ 何といっても石けんによる手洗い...水で30秒ぐらい洗い流すことが大切

★ ウイルスに負けない抵抗力をつけておく...十分な睡眠、十分な栄養、適度な運動





★ 早めにお医者さんに受診して、適切な治療を受ける。

吐き気やおう吐、下痢の症状があったら、熱はなくても医者にかかり、登校を控える。

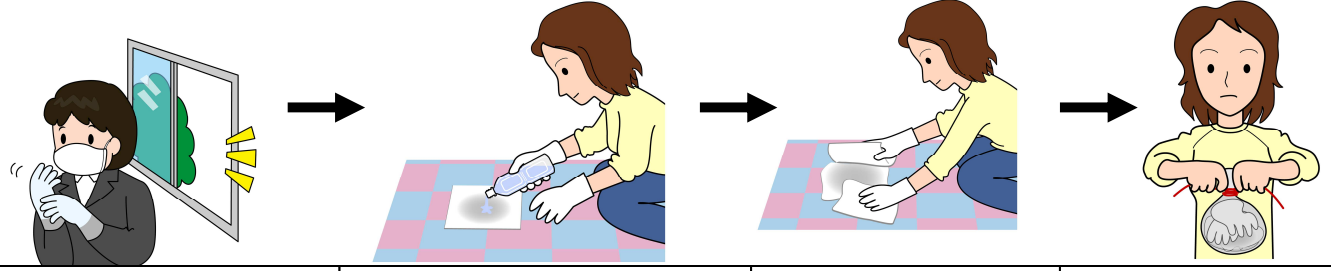
正しい手の洗い方



おう吐物の処理方法

- ウイルスには、塩素系の消毒薬(ハイターなど)が有効である。
- 乾燥するとウイルスが部屋中に浮遊し、口に入って感染することがあるので、早めに処理する。

処理する人が感染しないように注意！



- ① 窓を開け、使い捨て手袋とマスクを着用して行う。
- ② 新聞紙などで覆った上から、0.1%に薄めた家庭用漂白剤をたっぷりかける。
- ③ キッチンペーパーや使い捨ての雑巾で、静かにふき取る。
- ④ 使い捨て手袋なども、ビニール袋に入れて処分する。

- 汚れた衣服は、他の洗濯物と区別して、家庭用漂白剤を入れて洗う。
- * 学校で汚れた場合は、ウイルスを広げないために、洗わないで、そのままビニール袋に入れて持ち帰りですが、ご了承ください。